

田んぼの向こう……
遠くにクネクネ踊る影を見つけたら
急いで目を逸らすんじや……

決して見続けてはならん……

TAIMA SLAYER

妖泥怪舞 妖怪泥田坊編

そう、それでいい……
早く、逃げて……

お化け
あんなに
早く逃げた
あんなに



乳房も見たことないほど
たわわじゃあ……たまらんのう

泥が触れたところが敏感に……

女陰もぐちよぐちよに
かき混ぜて差し上げますぞお

ひひひひひひ
この上等な体に
霊力……さすが
夜叉比丘尼様ダア

菊座も物欲しげに
しておりますの

比丘尼様あ、もう
逃げられませんぞお

末代までえ、我々の
糧となっておりますからのお

霊力を集中し快感に耐えないと……くうっ！

ぬん

ぐわん

ぐわん

肛門もほじくり返して
欲しいのですかな
くくく助平な比丘尼様だ

じやる

ぐわん

ぐわん

ぐわん

おやおやあ、
もうこんなに女陰から
汁を吹きこぼして…

んくうっ！
き、気持ち悪い…
泥の手で触らないでえ

霊力を高めて気を保たないと
泥田坊に取り込まれ…っ？

やつ……！
な、何を！
そ、そこはダメ…！

ほっほっほ、尼様の体は
だいぶ火照っておられるとみゆる

尼様の助平な肉豆を
可愛がってあげますぞ！

一つ、冷たい泥なのに
触れたところが蕩ける様に熱くうっ！

コイツらは泥まみれの悦楽で
霊力を吸い取るつもりなんだわ

何を仰る尼様
豊年の喜びを
たあっぷりと
味わってもらおうと
してるのですぞ

そ、その泥の指で
さ、触らない…ひっ！！

ヒビヒビ…

はっ

ムリッ

ムリッ

やめ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

やああっ！
そんな、激し……っ！
あ、あ、あああっ！

クワフ、何おおっしゃる
尼様あ……こんなに
ぐしやぐしやに溢れさせて

ほほほ、女陰の天井を小突くと
たまらんですじゃろ？

おなかあ苦しい……つ、
中あつ掻き回さないでえっ！

そうですぞお
女陰もキュンキュン
締め上げてくるではないかあ

さてさて、珍棒好きなのは
はしない尼様じやあ

ああ、こゝ堪えてるのに
靈力が泥が触れたところが
疼いて靈力がじわじわと
吸い出されてゆく……!

グッポ

ほほほほ
では尼様、極上の快楽で
くねくねと狂わせて差し上げようぞ

んぐおおっ！
んぶっ！

わかりますかな？
尼様の中を汚い泥が
通っていきますぞ

はらわたが悦楽で
満たされてしましましょう

ほれほれ、もうすぐ菊座あ、
ほうれえ、ひりだしなされえ！

いやあああつ！
口の中を、お腹の中をおつ！！
私の身体が泥でいっぱいになる？

ふひひひひひっ！
尼様を泥の手にて
貫きましたぞおつ！

おおお

ほあ

んぐおおっ！
んぶっ！

ああ

おほほほ
尼様の尻のあな
裏返つてしまひましたのう

んううううー！
ふ、ふぐうっ！

んぽが

んぽ

がに

んやう

さあで
また、潜り込ませて
貰うとしますかの…

ほうれえ
尻から出で
お股までぐりりと
繋がりましたぞお！

んやう

我らはヒトの体が恋しくて
の内に潜り込みたくて
しようがないのじゃあ

あやかしの哀しい性だと
思つて付き合つてゐたされえ

んやう

えええっ？
うそへましか
わたしを貰いた
泥田坊がもう一度っ？



どうですか、汚らしい泥のあやかしに
身体中を満たされたと気分はあ

ああ、気持ちいいのでござりますなあ
尼様の快楽が伝わってきますわ

こんな、こんなあ！
私の体の中があ
全て泥田坊で汚されるっ！

尻穴もこんなに真っ赤にして……
もっともっと可愛がって差し上げますぞ

突けば突くほど
おまんこから助平汁が溢れてきますぞ

あそこが壊されそうで
お腹が挟られているのに
イクのが止められないっ！

もうやめてやめてえ！
頭がおかしくなるうっ！

二本も泥手マラを咥えこむとは
なんとはしたない女陰



おやおやおやあ
いくらでも飲み込みますなあ
尼様の女陰は

ほひん
ぐちん

おおお...それは知りたいですぞお
尼様が我らを受け入れてくださったなら
我々は一つとなり

ぐぼ
ぐぼ

んぶおおおお...フグッ!
お、おまんごこわれ...
ごっん、んぽっ!

皆の衆、知りたくはないなあ
尼様の体があ我々全てを
受け入れてくれるのか!

んんん
んんん

そして、トロンニに泥田の中で
悦楽と共に過ごせるのですぞ

...な、何を言ってるの?

んんん...

!!

うひひひ、ならば
試してみましようぞ

めい...

めあ
めあ
めあ

更に大きく
ご開帳ですなあ!

ぶぎゃあああつ!
さげるさげるおまんご
ごわれ...んごおおおつ!

さあで、子袋に潜り込み
尼様と一つになるう

くふふふふ
まさに赤子に戻るような
心地ですなあ

んんんんん

そうそう、恐れることはありませんぬ
ほれ尻穴の愉悦に身を任せなされ

う、うぞおあ、頭を入れるなんてえっ！
し、死ぬうううっ！

んぐおおおおおおおっ！
おっご、ごわれえええっ！

ゴキッ

壊れるっ！
私の子宮の中全てに泥田坊が
入ってくるううっ！

ズッ
あふふふっ……

ああ、股の関節が壊れて
アソコが引き裂かれてるのに
泥が快楽に変えていくうううっ！

ああ、おまんこの入口が締まっておりますな
もっと緩めていただかねばのお

あゝあゝあゝ

ほれほれえ、
もうすぐ頭が入りますぞお

怖い！
痛みも何もかも
快楽に変わって

いやああつ！
このままじゃ、私が溶けるっ！
泥に溶けて、
快楽に悶えるだけの存在に……！
そんな、そんなあ……！

ンッ

ビクッ

おおおおおっ、入りましたぞ
子袋の中までズッポリと！

ズッ

まさしく母の元に帰ったような
心地ですのう

ふははははははは
これで我々と尼様はまさしく
一心同体！

も、もう……

ほれほれ、
もつと菊座でも達しなされ

おぼっ

人々

ああああ、肉悦が止まらない
イけばイクほど、
泥田坊が染み込んでくる……
体の中から、泥に汚されるう

めい

ズッ

そ、そんな……！！
私の中につ、泥田坊がつ！

ズブズブとぬかるみに沈む……

もう抜け出せない……

泥田坊……

ああ、
泥田坊が
達しなされ

おやおやあ遠くに村の童が？
尼様と我らをみてしまひましたのかのお？

お願い
決して後ろを振り返らないで…

村の者に伝えて
また尼様のような者を
呼んでくるのであるうかのお

そうしたら！
尼様のお仲間が増えますのう
くねくねとくねくねとお

あなたも魑魅魍魎に呼び込まれないように

そう、私のように……

